Panasonic

取扱説明書

蛍光灯ブラケットセンサ付（防雨型）

保管用

品番　NFS11858BKE　NFS11858WKE

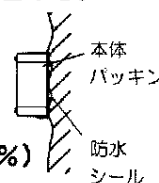
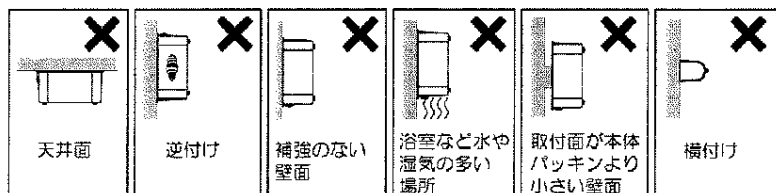
・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

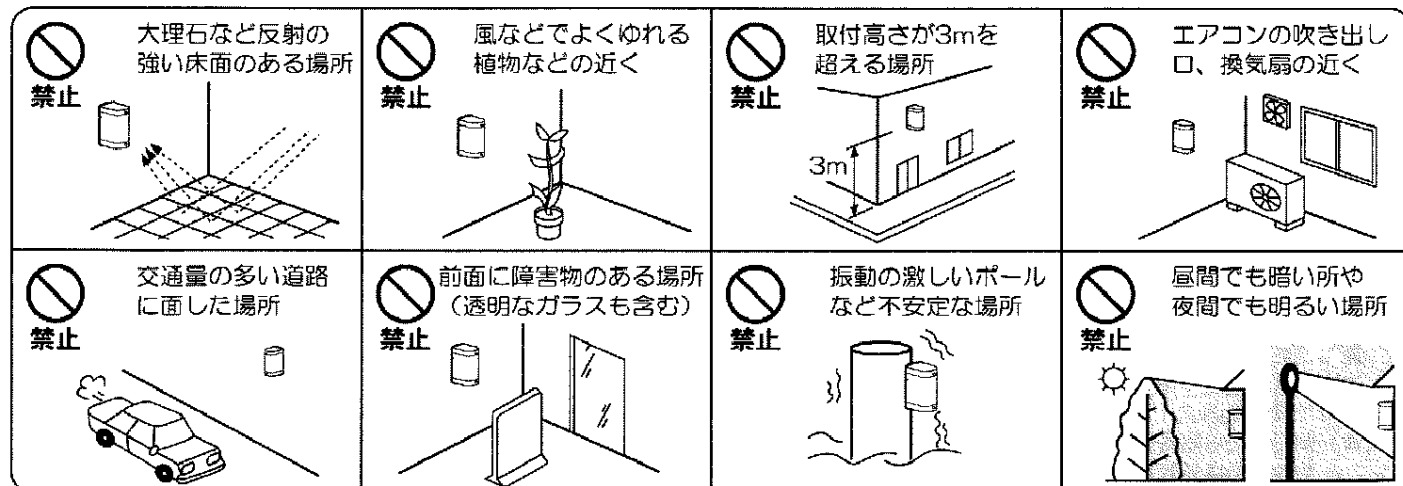
- **施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。**
  施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- **壁面取付以外で使用しない。**
  下図のような場所や方向に取り付けると火災・感電・落下の原因となります。

- **器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。**
  火災・感電・落下の原因となります。
- **取付面の凹凸がある場合は、隙間を埋める。**
  本体パッキンと取付面との隙間を防水シールなどで埋めてください。防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
  （本体パッキン／防水シール）
- **表示された電源電圧（定格電圧±６％）・周波数以外の電源で使用しない。**
  火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

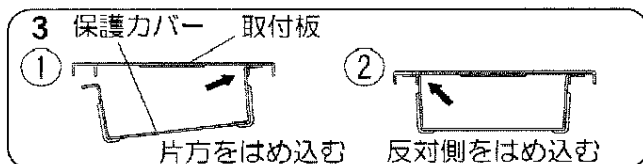
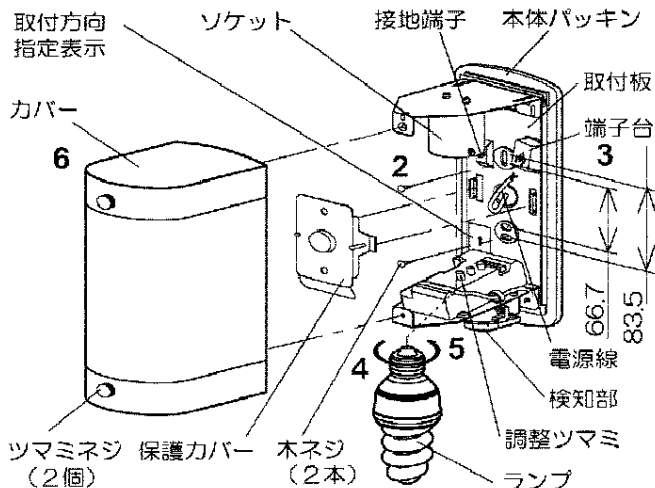
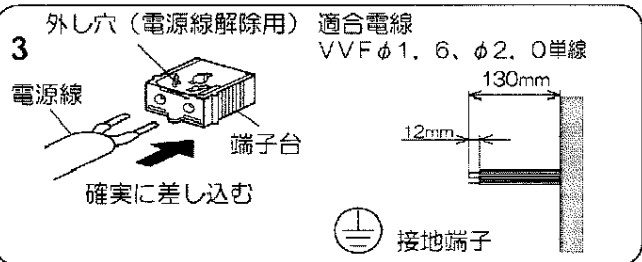
- **湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。**
  火災・感電・落下の原因となります。
- **ライトコントロール、明暗スイッチなどの調光器との併用はしない。**火災の原因となります。
- **接地工事は電気設備基準にしたがって確実に行う。**接地が不完全な場合、感電の原因となります。

取付場所について

- センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は、「設定のしかた」（Ｐ２）の項目をよくご覧のうえ、設定してください。
- 次のような場所には取り付けないでください。

このセンサは、周囲の明るさと温度変化を検知しますので、誤作動の原因となります。

配線について

●電源スイッチは必ず併設してご使用ください。付属されていませんので別途ご用意ください。
●電源スイッチが無いとセンサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。

各部のなまえと取り付け方

1 取り付け前の確認

・器具質量（０．９ｋｇ）に十分耐えるように、取付部の強度を確保してください。
不備がありますと落下の原因となります。

2 取付板を取り付ける

・ツマミネジをゆるめてカバーを取り外してください。
・保護カバーを取り外してください。
・電源線を取付板の電源穴より引き込んでください。
・取付方向指定表示にしたがい付属の木ネジ２本で壁面内の補強材のある位置に確実に取り付けてください。
・ベニヤ板など薄い壁材へは取り付けないでください。
不備がありますと落下の原因となります。

3 電源線を接続する

・電源線を差し込み穴の奥まで確実に差し込んでください。
・接地端子を使用してＤ種（第３種）接地工事を行ってください。
不完全な場合、火災・感電の原因となります。
・取付部及び電源線貫通部を防水シールなどで埋めてください。
防水が不完全な場合、浸水・火災・感電の原因となります。

・保護カバーをはめ込み電源線を保護してください。
不備がありますと火災・感電・落下の原因となります。

4 ランプを確実に取り付ける

不備がありますと火災・落下の原因となります。

5 検知部の調整と調整ツマミを設定する

・「設定のしかた」（下記）を参照して設定してください。

6 カバーを取り付ける

・カバーをツマミネジで確実に固定してください。
ねじ込みが不完全ですと防水効果を損ない
火災・感電・落下の原因となります。

設定のしかた

電源がＯＦＦになっていることを確認してください。

検知範囲の設定は、昼間に行うこともできます。

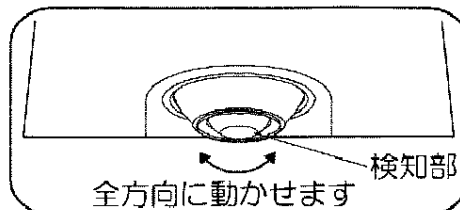
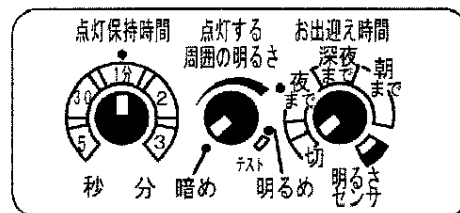
1 カバーを取り外す

「各部のなまえと取り付け方」（上記）を参照してカバーを取り外してください。

2 検知範囲を調整し、点灯確認する

（1）調整ツマミの設定を変更する
・点灯する周囲の明るさを「テスト」（右いっぱいに回す）にする。
・お出迎え時間を「切」（左いっぱいに回す）にする。
（2）検知範囲を調整する
・検知部を動かして現場に合った検知範囲を設定してください。
（3）電源をＯＮにし、検知範囲の外へ出て待ち、
約４０秒後に消灯することを確認する。
・消灯しない場合は次のような要因が考えられますので処置を施してください。
お出迎え時間が「切」になっていない　→　「切」にする
・センサ検知範囲は、「センサの検知範囲」（P3）を参照ください。
（4）消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する
・センサの検知範囲の外に出てから約５秒後に消灯します。

3 一旦、電源をＯＦＦにする

取説No.NFS11858BK－TB2

設定のしかた

4 調整ツマミを使用状態に設定する

「この器具の3つのモードについて」（P4）を参照し、どのモードで使用されるかを必ず検討の上調整ツマミの設定を行なってください。
（右記の設定では暗くなって人が近づいたときだけ点灯します）

・点灯保持時間を「1分」にする。
・点灯する周囲の明るさを「暗め」にする。
・お出迎え時間を「切」にする。

5 カバーを取り付ける

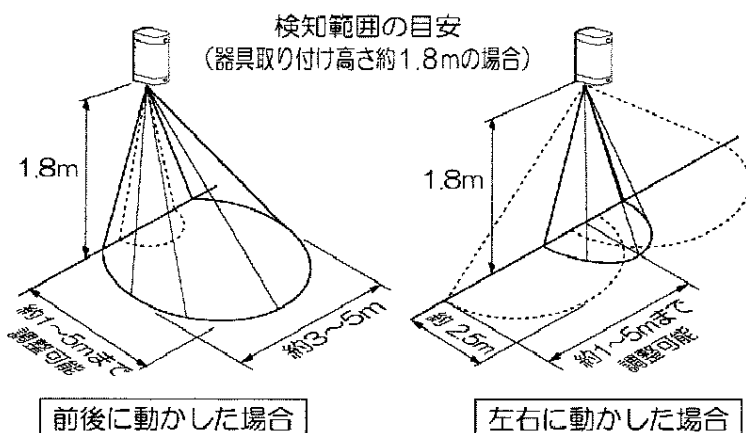
「各部のなまえと取り付け方」（P2）を参照してカバーを取り付けてください。

6 電源をＯＮにする

センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約２０度動きます）
●器具の取り付け高さ1.8m（標準）～3mの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安
（器具取り付け高さ約1.8mの場合）

前後に動かした場合　　左右に動かした場合

ご注意

●この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。
●検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
●センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管してください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●**器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。**火災・感電・落下の原因となります。
●**異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店に相談する。**火災・感電の原因となります。
●**ランプ交換の際には、器具表示及び取扱説明書にしたがい、指定されたランプを使用する。**
指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

●**照明器具には寿命があります。設置して１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。**
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命は短くなります。
・1年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
●**ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行う。**やけど・感電の原因となります。
●**アルカリ系洗剤は、使用しない。**強度低下による破損の原因となります。

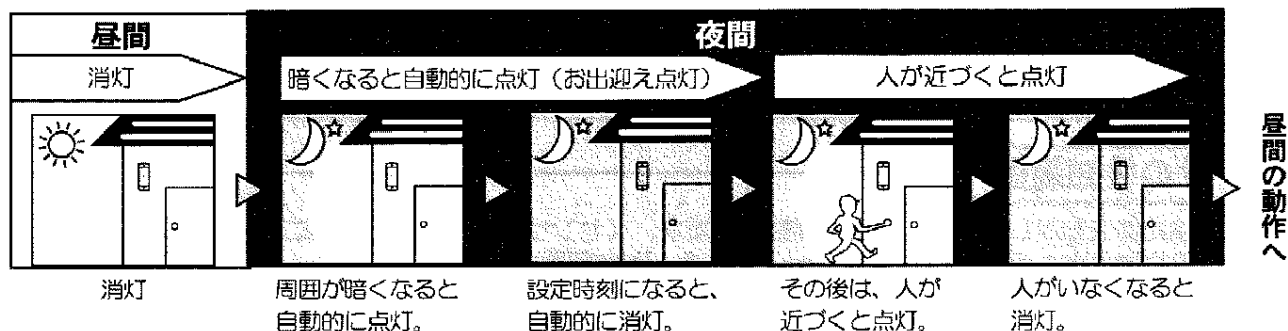
使用上のご注意

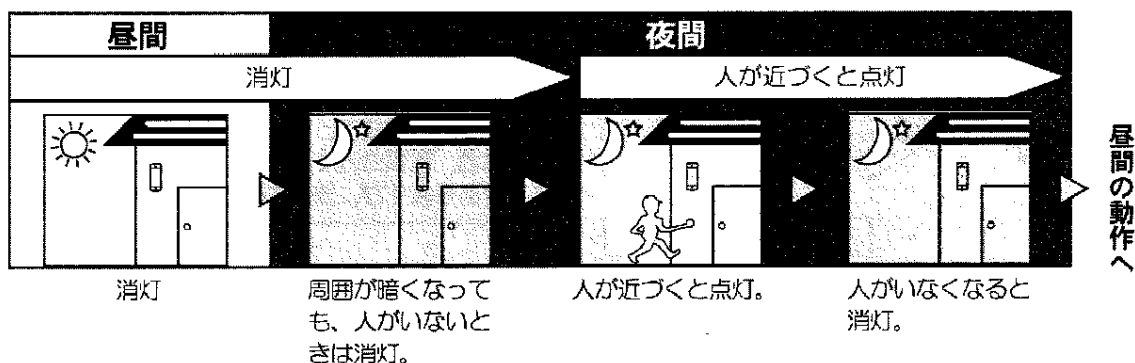
●**点灯直後約１０分間は、明るさや光色が若干変化します。**
●**周囲温度の違いにより、明るさや光色が若干変化します。**

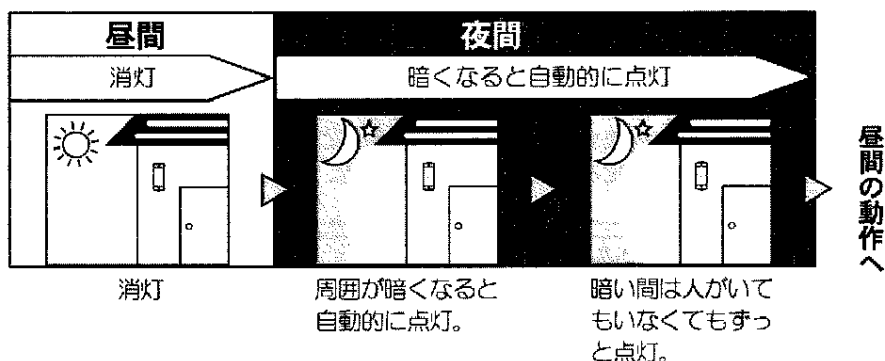
この器具の３つのモードについて

この照明器具は、「お出迎えモード」、「ON／OFFモード」、「明るさモード」の、
いずれかから使い方を選ぶことができます。
●この照明器具は、電源をONにしたままお使いください。（昼間は自動的に消灯します）

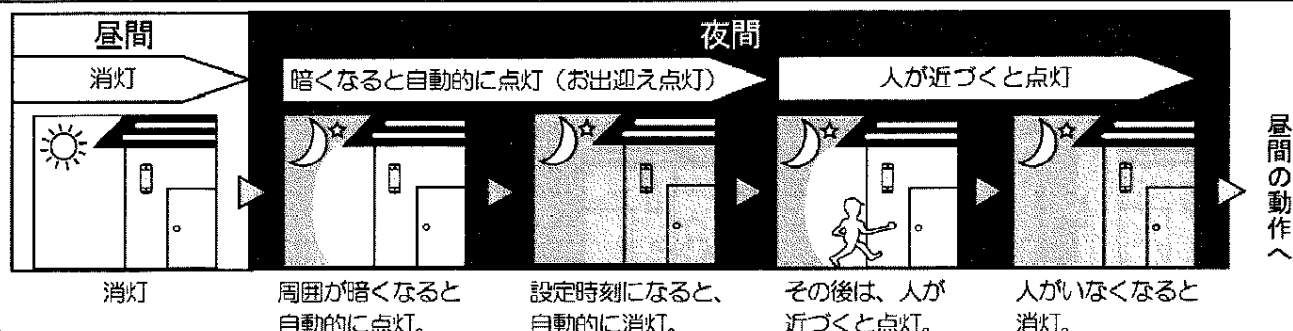
お出迎えモード の動作説明

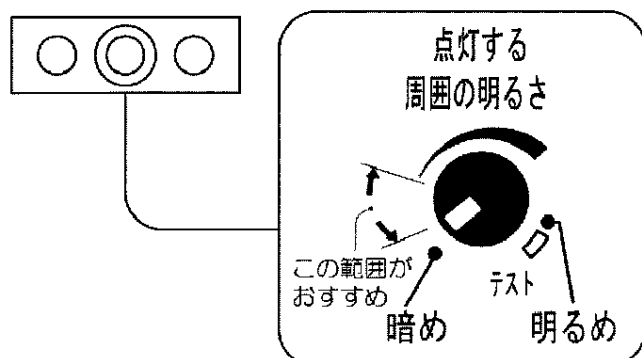
調整ツマミの設定方法 ☞ 5ページ

ON/OFFモード の動作説明

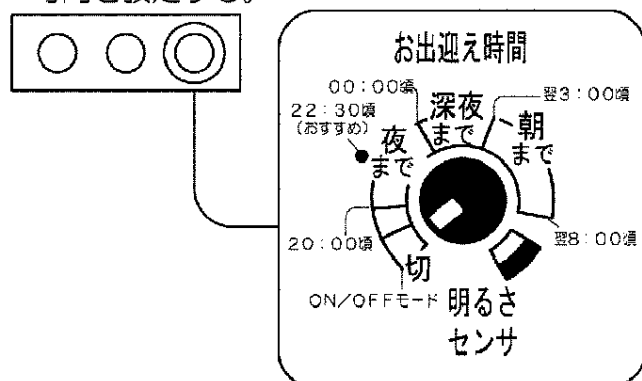
調整ツマミの設定方法 ☞ 6ページ

明るさセンサモード の動作説明

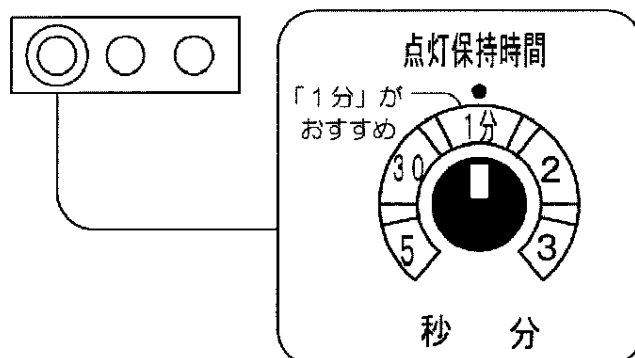
調整ツマミの設定方法 ☞ 7ページ

お出迎えモードの調節

お出迎えモードは、夕方になると人がいなくてもお出迎え点灯させる使い方です。

お出迎えモードの動作説明

電源をＯＦＦにして、カバーを取り外してください。（Ｐ２参照）

1 **点灯する周囲の明るさ**ツマミで、「お出迎え点灯」が始まる周囲の明るさを設定する

・右いっぱい（「テスト」まで）に回すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。
この場合、人がいなくなった後の点灯時間は約５秒となります。

2 **お出迎え時間**ツマミでお出迎え点灯が終わる時間を設定する。

・上記時間は1 のおすすめ範囲で実施した時の目安時間です。
・地域や天候により、時刻は約１時間ほどずれる場合があります。
・ツマミの設定を途中で変更した場合、お出迎え点灯が終わる時間は翌日から正常に動作します。

3 **点灯保持時間**ツマミで、お出迎え点灯終了後人が離れてから消灯するまでの時間を設定する。

4 カバーを取り付ける。

（Ｐ２参照）

5 電源をＯＮにする。

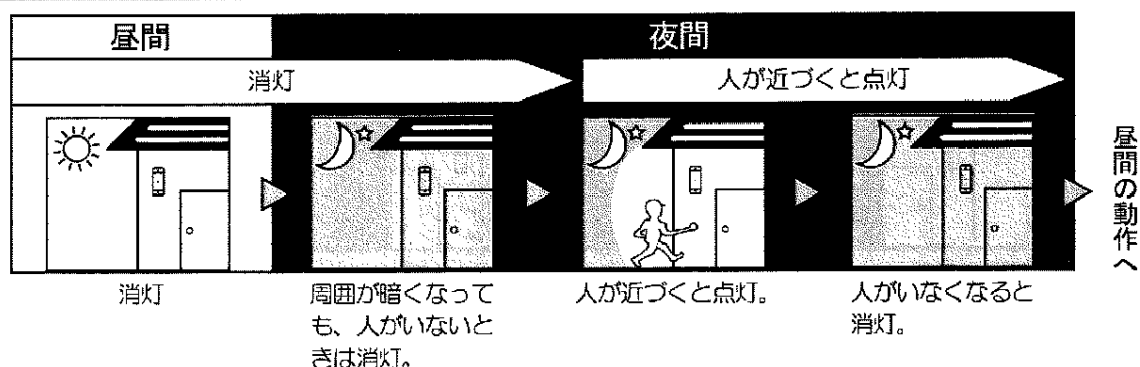
注）電源をONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

注）電源をONにした初日は、手順2で設定した時刻に関係なく、お出迎え点灯は約4時間で終了します。
翌日より設定した時間通り終了します。

注）電源は、常時ONでお使いください。電源をOFFにすると、再びONにした初日のお出迎え点灯は約4時間で終了します。

ON／OFFモードの調節

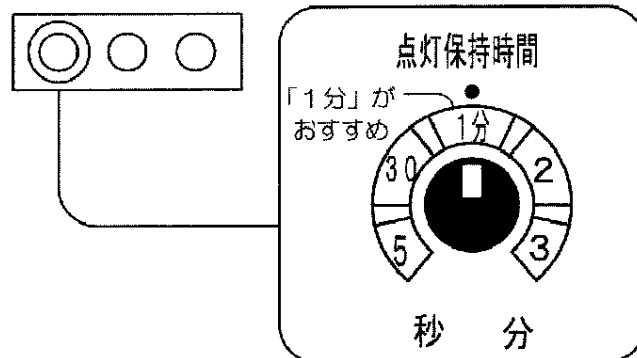
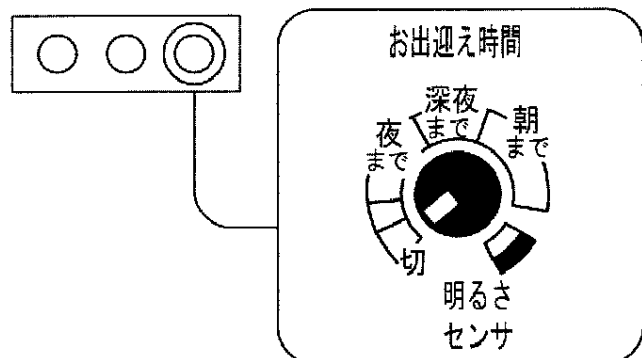
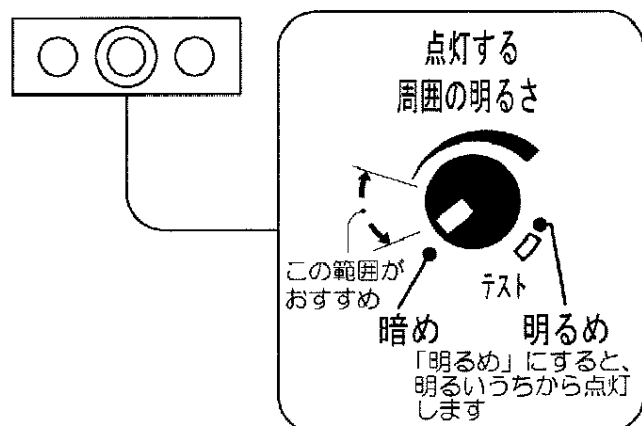
ON／OFFモードは、人が近づいたときのみ点灯し、離れると消灯するシンプルな使い方です。

ON／OFFモード の動作説明

電源をOFFにして、カバーを取り外してください。（P2参照）

1 **お出迎え時間**ツマミを「**切**」にする。

2 **点灯する周囲の明るさ**ツマミで点灯する基準の周囲の明るさを設定する。

・右いっぱい（「テスト」まで）に回すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。
この場合、人がいなくなった後の点灯時間は約5秒となります。

3 **点灯保持時間**ツマミで、人が離れてから消灯するまでの時間を設定する。

4 カバーを取り付ける。
（P2参照）

5 電源をONにする。

注）電源をONにした直後は、周囲の明るさに関係なく約40秒間点灯します。

注）電源は常時ONでご使用ください。
注）点灯中に検知範囲に人が入ると、点灯保持時間は延長されます。
注）点灯保持時間を短く設定している場合は、点滅回数が多くなるためランプの寿命は短くなります。
注）人通りの多い場所では、点滅回数が多くなるためランプの寿命は短くなります。

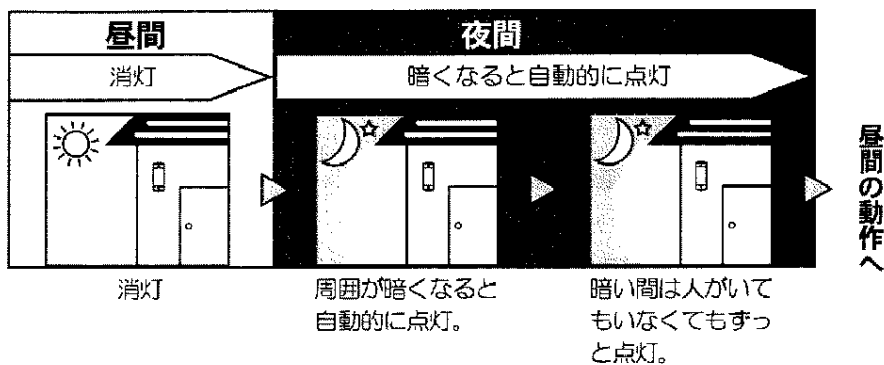
明るさセンサモードの調節

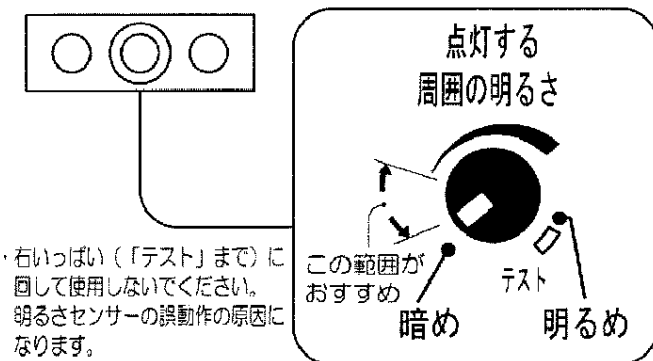
明るさセンサモードは、夕方になると人がいなくてもお出迎え点灯、明るくなると消灯させる使い方です。

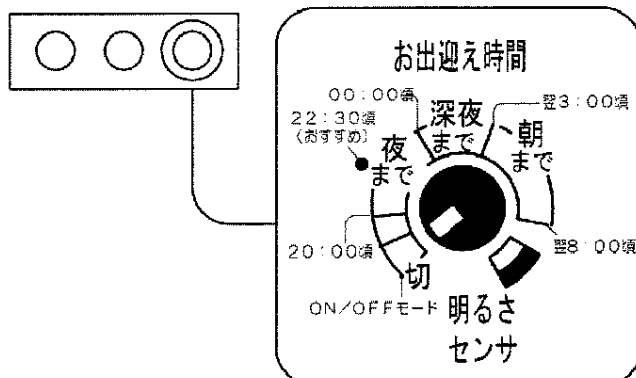
明るさセンサモード の動作説明

電源をＯＦＦにして、カバーを取り外してください。（Ｐ２参照）

1 **点灯する周囲の明るさ**ツマミで、点灯する基準の周囲の明るさを設定する

・右いっぱい（「テスト」まで）に回して使用しないでください。明るさセンサーの誤動作の原因になります。

2 **お出迎え時間**ツマミを右いっぱいに回し「明るさセンサ」に設定する

3 カバーを取り付ける（Ｐ２参照）

4 電源をＯＮにする

注）電源をONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

注）電源は常時ＯＮでご使用ください。

お手入れ・ランプ交換 ⚠注意 必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因となります。

<器具の清掃について>

・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
　シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
　変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・検知部（P２参照）が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。
　定期的（６カ月に１度程度）にやわらかい布で清掃してください。

<ランプ交換について>

・器具表示にしたがって、下記の指定されたパナソニック製ランプを使用してください。

ランプ交換方法

1.カバーを取り外す

・ツマミネジをゆるめてカバーを取り外してください

2.ランプを交換する

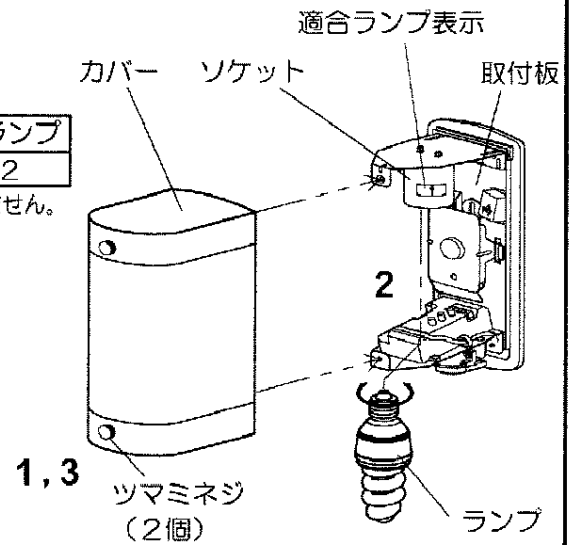
⚠警告	指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

適合ランプ	おすすめの交換ランプ
Ｄ１５形パルックボールスパイラル蛍光灯（Ｅ２６）	ＥＦＤ１５／１２

●D15形パルックボール蛍光灯（E26）品番　EFD15EL(D)/12Eは使用できません。

⚠注意
・点灯中や消灯直後のランプは、高温になっていますので さわらないでください。 やけどの原因となります。

3.カバーを取り付ける

・カバーをツマミネジで確実に固定してください。
　ねじ込みが不完全ですと防水効果を損ない
　火災・感電・落下の原因となります。

保証について

1：保証について
　この商品の保証期間は１年間です。
　ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

2：保証書について
　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

3：補修用性能部品（電気部品）の保有期間
　弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
　性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。
　補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

故障かな？と思ったら（下記の点検をお願いします）

●異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。
●正常に戻らない場合は、電源をＯＦＦにして（５秒以上）再びＯＮにしてみてください。
●電源は通常は必ず昼間でもＯＮのままにしておいてください。（昼間は自動的に消灯します）

現　象	考えられる原因	処　置
人を検知しているのに点灯しない	電源がＯＦＦになっている	電源をＯＮにする
	ランプが切れている	ランプを交換する（Ｐ７参照）
	点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	**点灯する周囲の明るさ**ツマミを「**明るめ**」側（右方向）に少しまわす（Ｐ5、6参照）
	人が静止している	静止している人は検知できません
人が近づいても検知しにくい	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する（検知部を動かす）（Ｐ２参照）
	検知部がよごれていたり蒸気などによる水滴がついている	検知部を柔らかい布で傷がつかないようふく
	検知しにくい条件となっている	故障ではありません（Ｐ３参照）
検知範囲に人がいないのに点灯している	検知範囲内に人以外の熱源がある（例）白熱灯照明器具、エアコンの吹き出し口、風などでよく揺れるもの（植木、旗など）車の熱やヘッドライト、犬や猫などの動物、強い風、雨、雪　など	人がいる／いないは温度変化量で検知されるため、左記の要因で検知範囲内の温度に変化があった場合はセンサが反応することがあります（故障ではありません）
	お出迎え時間ツマミが「明るさセンサ」になっている（明るさセンサモードになっている）	お出迎え時間ツマミを「明るさセンサ」以外の位置にする。
	お出迎え点灯中である	お出迎え点灯中は人のいる、いないにかかわらず点灯状態となります
	電源をＯＮにした直後又は停電が回復した直後（検知部が赤く点滅している）	電源ＯＮ後、約４０秒間は必ず点灯します
周囲が暗くなってもお出迎え点灯しない（消灯状態である）「お出迎えモード」でお使いの場合	**お出迎え時間**ツマミが「**切**」になっている（ＯＮ／ＯＦＦモードになっている）	**お出迎え時間**ツマミを「**切**」以外に変更する（Ｐ５参照）
	点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」側（右方向）に回す（Ｐ５参照）
周囲が明るいのにお出迎え点灯している「お出迎えモード」でお使いの場合	**点灯する周囲の明るさ**ツマミが「**明るめ**」になっている	**点灯する周囲の明るさ**ツマミを「**暗め**」側（左方向）に回す（Ｐ５参照）
	器具の設置場所が暗い（昼間でも暗い）	商品の性能上「お出迎えモード」が正常に動作しませんので、**お出迎え時間**ツマミを「**切**」にして「ＯＮ／ＯＦＦモード」でご使用ください
	なんらかの要因により約５分間周囲が暗い状態が続いた	電源を一旦ＯＦＦにし（５秒以上）再びＯＮにする
お出迎え点灯の終わる時間が設定より早い／遅い「お出迎えモード」でお使いの場合	天候などで周囲が暗くなる時刻が通常より早かった／遅かった	商品の性能上お出迎え点灯の終了時間がばらつくことがあります。
	電源を一旦ＯＦＦにした（電源はＯＮのままお使いください）	再度ＯＮしてください。この場合、初日のお出迎え時間は4時間に固定され、翌日より設定通りの時間に戻ります

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店、電器店にご相談ください。